

ご修理のときは

お買い求めの販売店、またはホームセンターにお申し付けください。
なお、修理を依頼する販売店やホームセンターがお近くにない場合は、
弊社 WEB サイトから修理受付けを行っていますのでアクセスしてください。
<https://www.hikoki-powertools.jp/contact/repair/>



お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日 年 月 日 製造番号 (NO.)

販売店 (TEL)

お客様相談センター

●フリーダイヤル(9:00~18:00)

0120-20-8822 ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

工機ホールディングス株式会社

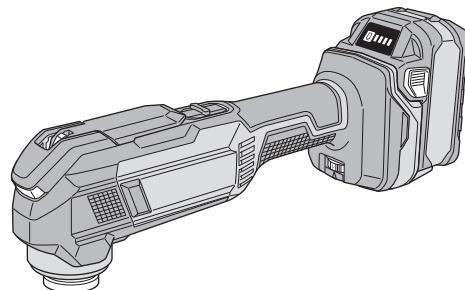
〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟18階)
電動工具ホームページ——<https://www.hikoki-powertools.jp>

HIKOKI

取扱説明書

コードレスマルチツール 36 V CV 36DMA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



はじめに	コードレス工具の安全上のご注意	1
	本製品の使用上のご注意	5
	リチウムイオン電池の使用上のご注意	7
	用途	8
	各部の名称	8
	仕様	9
	標準付属品	10
	別売部品	11

使い方	操作方法について	12
	先端工具の取付け・取りはずし	14
	切断する	15
	研磨する	17

その他	保守・点検	19
	ご修理のときは	裏表紙

⚠️警告、⚠️注意、注の意味について

- ⚠️警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- ⚠️注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- 注：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、⚠️注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠️警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。

- コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。
発火や火災の恐れがあります。

③ 保護メガネを使用してください。

作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

④ 加工する物をしっかりと固定してください。

加工する物を固定するために、クランプや万力などを使用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠️警告

⑤ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り(OFF)、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

- 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
- 付属品や別売部品を取り付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑥ 不意な始動は避けてください。

スイッチに指を掛け運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑦ 指定の付属品や別売部品を使用してください。

この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠️注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
- コードレス工具を、温度が50°C以上に上がる可能性のある場所(金属の箱や夏の車内など)に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上の使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ・大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。

常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。

⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- ・付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。

調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- ・コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。

特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。

アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⚠注意

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- ・スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・サービスマン以外の人は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- ・コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ・アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受付けできません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になる必要があります。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスマルチツールについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、内部配線・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確認してください。
- ② 金属を加工すると火花が飛散する恐れがあります。引火しやすい物は、安全な場所に遠ざけてください。
- ③ 使用中は、機体をしっかりと保持してください。
- ④ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑤ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、先端工具や機体に破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑥ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑦ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠ 注意

- ① 付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 使用中は、先端工具や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
- ③ 使用直後の先端工具、工具取付部および金属部品は高温になっているので、触れないでください。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確認してください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ⑥ 先端工具を取付ける際は、レバーに指などを挟まないように注意してください。
- ⑦ LED ライトの光を目当てないでください。
- ⑧ 蓄電池は確実に取付けてください。

⚠ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り（OFF）、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、先端工具の交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。

速やかに充電してください。

② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。

スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。

蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かけなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になります。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

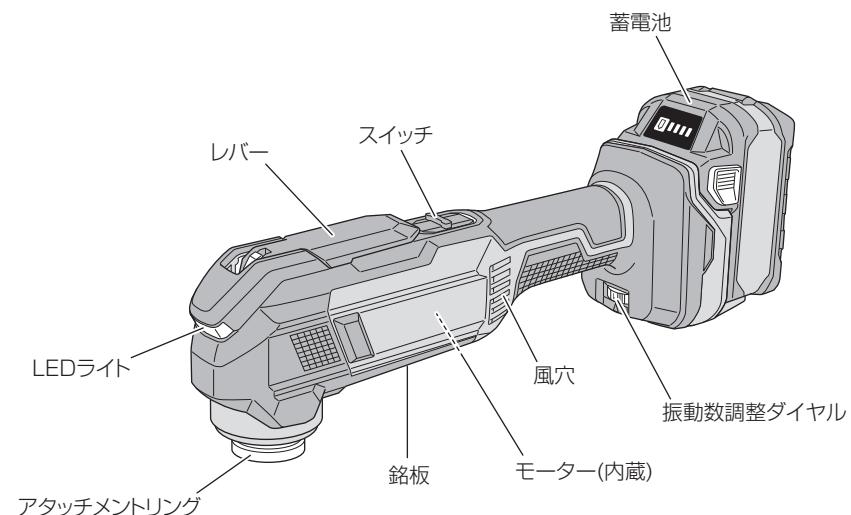
○蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

用 途

- 各種材料の切断、ポケット加工
- コーリング・タイル等の剥離
- 木材等の研磨

各部の名称



仕様

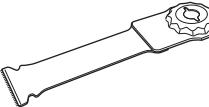
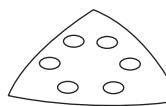
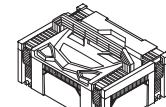
形名	CV 36DMA
モーター	直流モーター
振動角度	4.0°(両側合計)
無負荷振動数 [気温 20°C 満充電時]	ダイヤル 1 ~ 6 : 6,000 ~ 20,000 min ⁻¹ {回/分}
電池電圧	36 V
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ蓄電池
寸法 (全長×全高×全幅)	359 × 130 × 88 mm [BSL 36A18X 装着時]
質量	2.0 kg [BSL 36A18X 装着時]
LED ライト	白色 LED
振動 3 軸合成値 ^{*1}	研磨時: 2.1 m/s ² ^{*2} 切断時: 4.8 m/s ² ^{*2}

- ※1: 振動 3 軸合成値(周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値)については、
JEMA [一般社団法人日本電機工業会]
ウェブサイト : <https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
を参照してください。
- ※2: 振動 3 軸合成値は、EN62841-2-4、EN62841-2-11 規格に基づき測定しています。

使用可能な先端工具

			
可		不可	

標準付属品

品名・形名	仕様	XPZ	NN
ブレード MMD 32PBC		1 個	1 個
サンドペーパー取付け用パッド MSU 93D		1 個	1 個
サンドペーパー (#60、#120、#240 各 2 枚)		6 枚	6 枚
アクセサリケース		1 個	1 個
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を確認してください。		1 個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。		1 台	—
システムケース (No. 2)		1 個	—
電池カバー		1 個	—

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

先端工具は、同梱の別売部品一覧を参照してください。また、最新の情報は弊社ホームページ、あるいは総合カタログをご覧ください。
詳しくは、お買い求めの販売店に問い合わせてください。



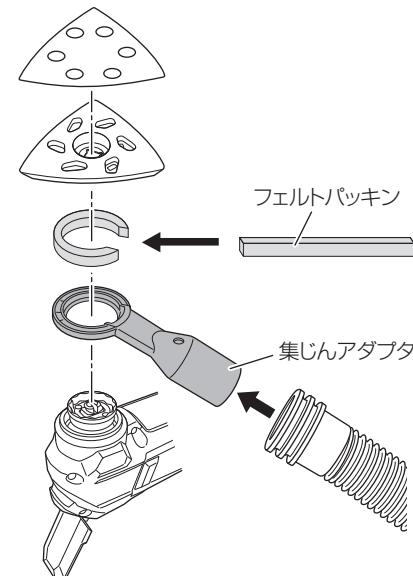
集じんアダプタセットの取付け方

切粉排出口にダクトアダプタを取り付けて使用します。
集じん機に接続する際、集じん機側の内径 25 mm のホースが接続できます。
その他のホースサイズの物は、別売部品のホースアダプタが必要ですのでお買い求めの販売店に問い合わせてください。

集じんアダプタの凹部に合わせ、フェルトパッキンを取付けます。

注 無線連動機能搭載の蓄電池を使用して集じん機の連動操作をする場合は、本製品の振動数調整ダイヤル6(全速)で使用してください。

コードレス工具の消費電力を検知して集じん機と連動するため、消費電力が小さいコードレス工具や軽作業の場合は連動しません。

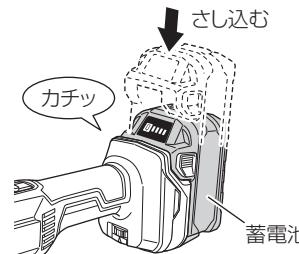


操作方法について

●蓄電池の取付け・取りはずし

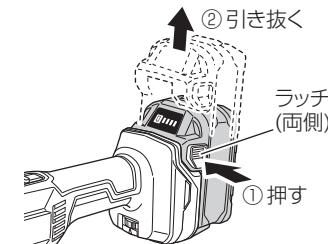
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



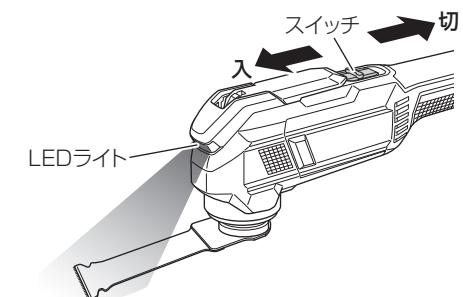
取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



●スイッチの操作

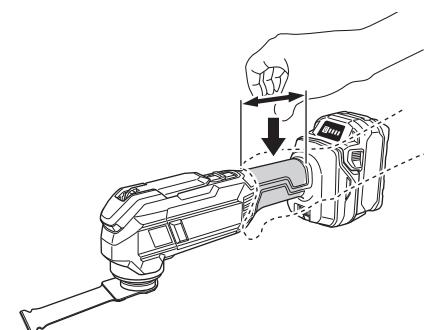
スイッチは図の方向にスライドさせると入/切りできます。
入と同時にLEDライトが点灯し、工具先端部を照らします。



●機体の保持

作業するときは、片手で機体を保持してください。

また、金属部分には、触れないでください。





先端工具の取付け・取りはずし

●振動数調整ダイヤルの操作

⚠ 注意

右図のマークがある先端工具と下表の先端工具は、振動数により振れが大きくなる場合があります。

最高振動数の 2/3 (ダイヤル 4) を目安に使用してください。

品番 MMI32PH / MMD32PBC / MMD52PBC / MMD100SB / MMW32PC

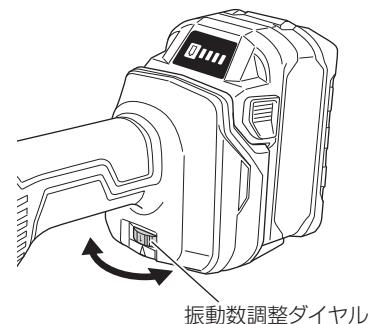
振動数は、 $6,000 \sim 20,000 \text{ min}^{-1}$ の範囲で設定できます。

ダイヤルを調整し、加工材、作業条件に合った振動数で使用してください。

ダイヤル	振動数
1~6	$6,000 \sim 20,000 \text{ min}^{-1}$ {回/分}

注 振動数によっては、先端工具の先端が縦に振動する場合があります。

その場合はダイヤルを調整し、その振動数を避けて使用してください。



⚠ 注意

⚠ 警告

切れ味の悪くなつた先端工具はそのまま使用しないでください。

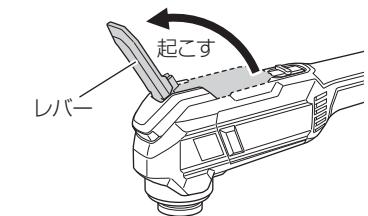
無理して使用すると、切断時の反力が大きくなり、けがの原因になります。

取付け

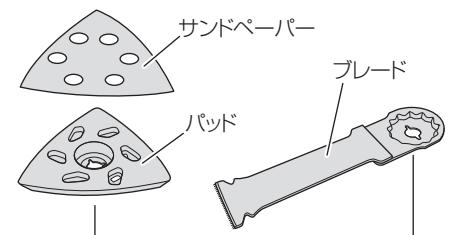
- 1 レバーを起こします。

⚠ 注意

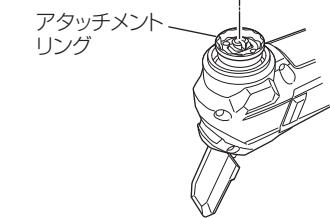
レバーには強いバネ力がかかっています。勢いよく倒れる場合がありますので、指などを挟まないようにしてください。



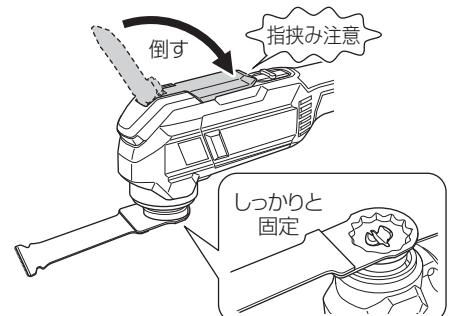
- 2 アタッチメントリングに、先端工具を取付けます。
先端工具は、取付角度を 30° ごとに設定することができます。



- 3 レバーを倒します。
先端工具が、確実に取付けられていることを確認します。



- 4 サンドペーパーは、パッドに穴を合わせて貼付けます。



取りはずし

取付け手順の 1 に従い、先端工具を取りはずします。

切斷する

●各種材料の切斷、ポケット加工
●コーリング・タイル等の剥離

⚠ 注意

- ・機体のスイッチを入れるときは、先端工具が加工材などに接触していないことを確認してください。
接觸していることを知らずにスイッチを入れると、思わぬけがの原因になります。
- ・切斷時は、無理に押し付けないでください。
振動が大きくなり作業がしづらくなるだけでなく、先端工具の破損や機体の故障を招き、けがの原因にもなります。
- ・使用直後の先端工具は高温になっているので、触れないでください。
先端工具の着脱は、少し時間を置き、冷えたのを確認してから行ってください。

1 スイッチが切れていることを確認する

(P.12「スイッチの操作」参照)

3 蓄電池を取り付ける

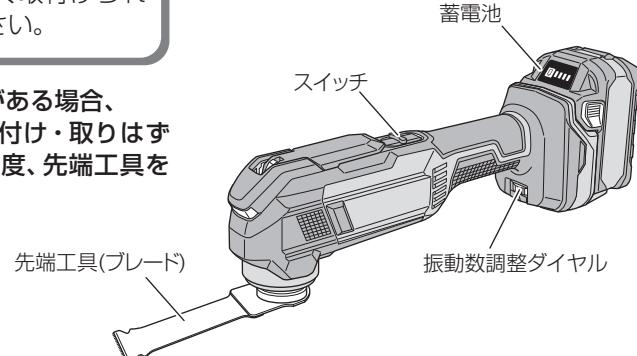
「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



2 先端工具を点検する

- ・先端工具が正規のモノか、またヒビや割れ等がないか調べてください。
- ・先端工具はガタつきなく取付けられているか点検してください。

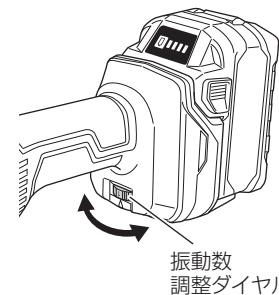
注 先端工具にガタつきがある場合、
P.14「先端工具の取付け・取りはずし」の手順に従い、再度、先端工具を取付けてください。



5

振動数調整ダイヤルの目盛りを合わせる

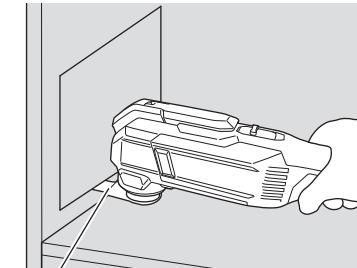
作業に応じた振動数を設定します。
(P.13「振動数調整ダイヤルの操作」参照)



6

切斷する

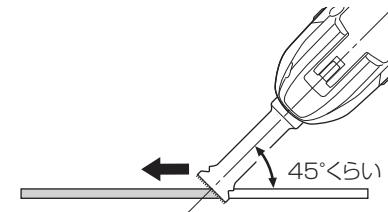
先端工具を材料に軽く当て、先端工具の動きが鈍くならない程度に、機体を前に進めます。



●効率良くお使いいただくために・・・

●平板の切断方法

刃先を斜めに当て、平板を貫通した状態で前に進めると、効率良く切断ができます。

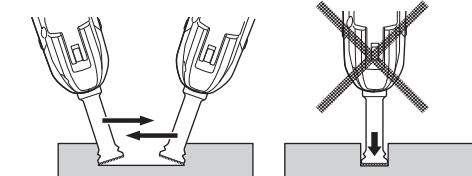


●木材の深切り作業

まっすぐに機体を進めて深切り作業を行うと、途中で機体が進まなくなる場合があります。

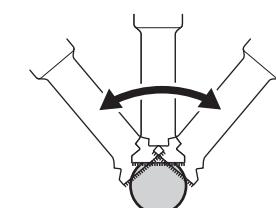
先端工具の振れ幅より穴を広げながら少しずつ切り込み、最後に隅を決める

と、より深く加工することができます。



●棒材の切断作業

先端工具の刃先の当たる角度を適度に変えながら作業すると、効率良く切断ができます。



研磨する

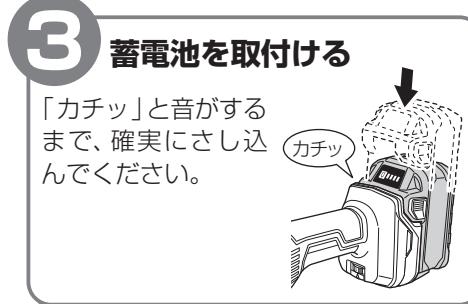
●木材等の研磨

△注意

- ・機体のスイッチを入れるときは、先端工具が加工材などに接触していないことを確認してください。
接触していることを知らずにスイッチを入れると、思わぬけがの原因になります。
- ・研磨時は、無理に押し付けないでください。
先端工具の破損や機体の故障を招くだけでなく、けがの原因になります。

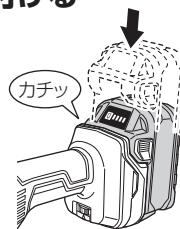
1 スイッチが切れていることを確認する

(P.12「スイッチの操作」参照)



3 蓄電池を取り付ける

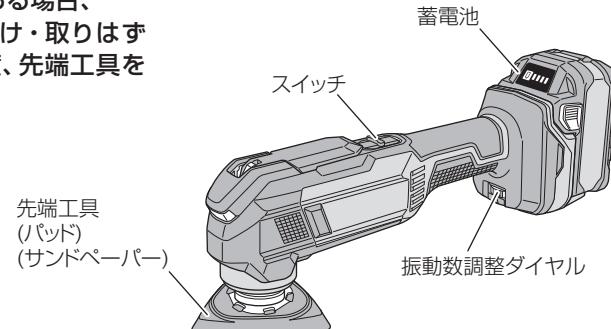
「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



2 先端工具を点検する

- ・先端工具が正規のモノか、またヒビや割れ等がないか調べてください。
- ・先端工具はガタつきなく取付けられているか点検してください。

注 先端工具にガタつきがある場合、
P.14「先端工具の取付け・取りはずし」の手順に従い、再度、先端工具を取付けてください。

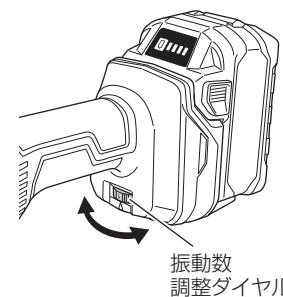


- 注** •金属の研磨に使用したサンドペーパーは、木材の研磨に使用しないでください。
・摩耗したり、目詰まりしたサンドペーパーは使用しないでください。

5

振動数調整ダイヤルの目盛りを合わせる

作業に応じた振動数を設定します。
(P.13「振動数調整ダイヤルの操作」参照)



●研磨のコツ

●サンドペーパーの当て方

サンドペーパーが加工面に一様に当たるように機体を加工面に軽く押し付けます。必要以上に強く押し付けると、モーターに無理がかかり、サンドペーパーの寿命を短くするだけで、研磨能率を悪くします。

●パッド(MSU 70D)【別売部品】使用時

サンドペーパーがパッドからはずれることがあります。その場合は、速度を落として作業をしてください。

●機体の動かし方

機体を手元から前方へ移動し、手元に引き戻すという往復運動を繰り返します。

●サンドペーパーの粒度が粗目で新しい場合は

サンドペーパーの粒度が粗目で新しい場合は、使用のはじめに機体がバタつくことがあります、そのときは、押し付けをゆるめてください。

●加工面が一様に研磨されるまでは

加工面が一様に研磨されるまでは同一粒度のサンドペーパーを使用してください。作業途中で粒度の違うサンドペーパーに取り換えると、きれいに仕上がらない場合があります。

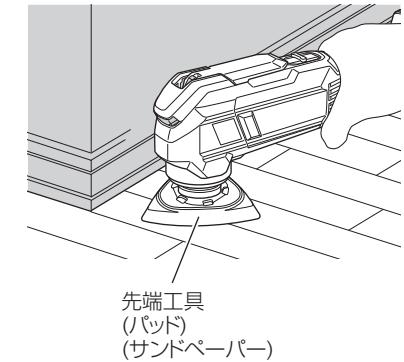
●試し作業

不要な材料で振動数を確認してから、作業を行うことをお勧めします。

6

研磨する

先端工具を材料に軽く当て、先端工具の動きが鈍くならない程度に、機体を前後に進めます。



保守・点検

メモ

●機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.8「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 50時間くらい使用しましたら、先端工具をはずした状態でモーターを無負荷運転してください。

モーター内部にほこりや粉じんがたまると、故障の原因になります。ほこりや粉じんがなく、乾いた空気の環境で無負荷運転すると、空気がハウジングの風穴から吹き込まれることで、ほこりや粉じんを排出する効果があります。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

メモ

メモ